

1/20(金)

大学病院4割転院先難航

全国82カ所の大学病院が加盟する「全国医学部長病院長会議」は19日、これら大学病院の4割で、症状の改善した新型コロナウイルス感染症患者を転院させる体制が整備されていないとの調査結果を発表した。新規患者受け入れのため、患者の症状が軽くなれば転院が必要となるが、受け

症状改善の患者

入れ先の病院を探すのに手間がかかるっている。同会議は「大学病院が重症者の治療で役割を果たせるよう、行政にリーダーシップを發揮してほしい」と訴えている。

医学部長会議アンケート

【原田啓之】

アンケートを実施した。回答した67病院のうち、新型コロナの退院基準を満たしている

が引き続き治療が必要な患者らを関連病院などで受け入れがかかるっている。同会議は「大

学病院が重症者の治療で役割を果たせるよう、行政にリーダーシップを發揮してほしい」と訴えている。

同会議が今月、加盟病院に

れて大学病院からの患者の受け入れをしきる病院は少なくないという。

同会議によると今月6日時

点で、81カ所の大学病院が重

症用581床の58・7%（3

41人）、中等症・軽症用1

216床の61%（742人）

をコロナ患者向けに使用。中

等症・軽症用の入院患者のう

ち332人は無症状で、大学

病院から転院可能な人が一定数、含まれるという。